

# 社会・環境活動のあゆみ

## 経営

- 1872 東京・銀座に「資生堂薬局」として創業
- 1888 日本初の練歯磨「福原衛生歯磨石鹸」発売
- 1897 化粧品業界へ進出（「オイデルミン」発売）
- 1915 商標「花椿」制定
- 1921 「資生堂五大主義」制定
- 1923 チェインストア制度採用
- 1927 合資会社を株式会社組織に変更 販売会社制度採用
- 1939 資生堂化学研究所設立
- 1949 東京証券取引所に株式を上場
- 1953 資生堂美容研究所を開設
- 1972 創業100年
- 1974 新卒者美容教室開始
- 1983 第1回転換社債発行  
北京市と技術協力協定締結
- 1985 ビューティサイエンス研究所発足
- 1988 服装の自由化・さんづけ運動
- 1989 「企業理念」制定  
コーポレートスローガン「ヒトを彩るサイエンス」発表
- 1990 選択型人材育成制度導入  
育児休業制度の導入  
リフレッシュ休暇制度の導入  
連続休暇制度の導入
- 1991 育児時間制度の導入
- 1993 介護休業制度の導入
- 1997 資生堂企業行動宣言「THE SHISEIDO WAY」制定  
企業倫理委員会発足  
資生堂企業倫理・行動基準「THE SHISEIDO CODE」制定
- 2000 新コーポレートメッセージ  
「共に。ART de VIVRE」発表
- 2002 育児休業者支援システムwiiwスタート
- 2003 事業所内保育所開設  
資生堂企業倫理・行動基準「THE SHISEIDO CODE」改定
- 2004 CSR部（社長直轄組織）を設置  
CSR委員会発足  
次世代育成支援行動計画の策定  
国連グローバル・コンパクトへの参加
- 2005 育児休業制度の改変  
子どもの看護休暇制度の導入
- 2006 「資生堂『共育』宣言」発表  
「エコール資生堂」創設

## 社会活動

- 1900 1919 資生堂ギャラリー開設
- 1924 『資生堂月報』創刊
- 1928 「資生堂美術展覧会 第一回」開催
- 1933 『資生堂グラフ』創刊
- 1937 資生堂花椿会が発足、『花椿』創刊
- 1947 「椿会第一回展覧会」開催
- 1949 高齢者、障がい者への「身だしなみ講座」開始
- 1950 1964 「パラリンピック東京大会」支援
- 1970 1972 「資生堂社会福祉事業財団」発足  
資生堂国際会議—光と皮膚のセミナー—開催
- 1977 「6人のバリ」開催
- 1978 資生堂アートハウス開館（静岡県掛川市）
- 1980 1980 資生堂国際会議—皮膚と化粧品科学—開催
- 1983 「現代詩花椿賞」制定
- 1984 点字による美容テキスト（スキンケア）制作・提供
- 1985 1985 資生堂国際会議—加齢と皮膚—開催  
ニューヨークで「資生堂広告美術展」を開催
- 1986 点字による美容テキスト（メーキャップ）制作・提供  
パリ広告美術館が「資生堂の美と広告1872～1986」展を開催
- 1987 視覚障がい者用美容情報テープ制作・提供  
資生堂ミュージカル「レ・ミゼラブル」協賛
- 1989 MGH・ハーバード皮膚科学研究所設立・共同研究開始  
資生堂国際フォーラム'89—サクセスフル エイジング—開催
- 1990 1990 企業文化部新設
- 1991 低アレルギー米「ファインライス」の発売  
資生堂皮膚老化研究ファンド創設  
'91資生堂国際フォーラム  
—サクセスフル エイジング心と体のつながり—開催
- 1992 あざや濃いしみをカバーする化粧法の開発  
社員の「社会活動賞」表彰開始  
資生堂創業120周年記念科学シンポジウム  
—ヒューマン・ヘルス・サイエンスと皮膚—開催  
資生堂企業資料館開館（静岡県掛川市）
- 1993 「ソーシャルスタディーズデー制度」導入  
'93資生堂サイエンスフォーラム  
—サクセスフル エイジング心の活性化 創造性と自己表現—開催
- 1995 1995 阪神大震災対策支援  
「資生堂パーフェクトカバー」発売  
資生堂フォーラム'95  
—サクセスフル エイジング 私の香りを考える—開催
- 1997 「パラリンピック長野大会」支援  
社員の「海外ボランティア活動体験制度」開始  
資生堂サイエンスシンポジウム'97  
—皮膚：生体のインターフェイススキンケアの新時代を拓く—開催  
資生堂フォーラム'97—サクセスフル エイジング最前線—開催  
パリで企業文化展  
「PARIS-TOKYO-PARIS SHISEIDO 1897-1997LA BEAUTE」開催
- 1998 「商品マッチングギフト制度」導入  
東京で企業文化展「美と知のミーム、資生堂展」開催
- 1999 資生堂国際フォーラム'99—よみがえる触覚—開催
- 2000 2000 資生堂サイエンスシンポジウム2000スキンケア・ミレニアム  
〈皮膚と遺伝子：見えてきた接点〉開催  
ニューヨーク大学、グレイ・アート・ギャラリーにて  
「FACE TO FACE/Shiseido and the Manufacture of Beauty 1900-2000展」開催
- 2001 資生堂フォーラム2001—「時は、人を、磨く。」開催
- 2002 「経営倫理最優秀力賞」受賞（経営倫理実践研究センター）
- 2003 朝日新聞文化財団「企業の社会貢献度調査2003」大賞を受賞  
資生堂フォーラム2003「年の重ねかた、老いの抑えかた」開催
- 2004 プライバシーマークの取得  
消費者志向優良企業に対する経済産業大臣表彰を受賞  
均等推進企業表彰の厚生労働大臣賞最優良賞を受賞  
HOUSE OF SHISEIDO開設  
「経営倫理優秀力賞」受賞（経営倫理実践研究センター）
- 2005 2005 社会貢献組織「SHISEIDO 社会貢献くらぶー花椿基金ー」創設
- 2006 「BERC 第3回経営倫理優秀力賞」受賞  
「資生堂ライフクオリティー ビューティーセンター」オープン
- 2007 メセナアワード2007「メセナ大賞」受賞
- 「福原信三と美術と資生堂展」開催

## 環境活動

- 1989 フロンガス全廃宣言
- 1990 フロンガス全廃完了
- 1991 地球共生委員会（環境問題に関する全社的な審議・方向付けの機関、現在の環境委員会）発足
- 1992 資生堂エコポリシー（環境に関する経営方針）制定
- 1993 「商品企画エコガイド」（環境配慮商品の企画&設計のためのガイドライン）策定
- 1996 環境データの公表を開始
- 1997 久喜工場でISO14001の認証取得  
（国内化粧品業界で初）  
「資生堂グローバル・エコスタンダード  
（商品開発編）」策定
- 1998 「環境報告書'97」発行（以降毎年発行）  
4つの環境目標を公表
- 1999 「環境シンポジウム」開催
- 2000 「地球環境大賞」において「環境庁長官賞」受賞  
国内外化粧品工場（15工場）でISO14001の認証取得  
容器包装におけるポリ塩化ビニル全廃
- 2001 使用済みガラスびん容器のリサイクルを全国展開  
久喜工場にコージェネレーションシステムを導入
- 2002 「地球環境大賞」において「文部科学大臣賞」を受賞
- 2003 すべての国内化粧品工場および銀座本社・汐留  
オフィスにおいてゼロエミッション達成  
「サステナビリティレポート」発行
- 2004 「資生堂CSRレポート2004」発行  
「環境コミュニケーション大賞」において「奨励賞」受賞
- 2005 「リサーチセンター」にてゼロエミッション達成
- 2006 掛川・大阪工場のボイラー 燃料転換実施（CO<sub>2</sub>削減）
- 2007 米岡工場にソーラーシステム導入
- 2008 中国で植林事業開始